

## 指定管理者評価シート(総括)

施設名	古賀市健康文化施設クロスパルこが	施設所管課(部・課)	教育部 生涯学習推進課
所在地	古賀市青柳町830番地1		
設置目的	市民の健康づくり、生涯スポーツ及び文化振興を図り、障がい者・高齢者と共に生きる健やかな地域社会実現に資する		
施設概要	多目的体育館、温水プール等を備え、子どもから高齢者、障がい者の健康づくり、生きがいづくりに資するための健康文化施設		
指定管理者	株コナミスポーツクラブ	指定期間	平成27年4月1日 ~平成32年3月31日

評価項目			自己評価 (指定管理者)	最終評価 (委員会)	備考
1 事業計画書の内容が、利用者の平等な利用の確保及びサービスの向上が図られるものであること  (手続条例第4条第1項第1号)	1 利用者の平等な利用の確保	1 施設運営のための運営方針は適切か	4	3	「誰もが参加できる」ことをコンセプトとして掲げており、これに基づき幼児から高齢者まで参加可能なプログラムを提供し、また、障がい者によるプール利用に配慮するなど、事業計画どおり運営方針は適切である。
		2 事業内容等に偏りがいないか	4	3	幼児から高齢者、また障がい者等幅広く市民を対象とした事業実施がなされており、体育館での子ども運動教室や高齢者対象の運動プログラムの実施等、事業計画どおり幅広いニーズに合わせたプログラム展開がなされている。
		3 利用者の平等な利用が確保されているか	4	3	幼児から高齢者、また障がい者等多くの市民が利用し易いプログラム展開と、運動機会の確保等、利用者の平等な利用が事業計画どおり確保されている。
		4 利用促進への取組内容は適切か	4	4	様々なキャンペーンを通じ、利用促進を実施されている点は評価できる。 Welcomeチケットの利用やキャンペーンを通じ、より多くの方が来館され、利用して頂けるように研究を願いたい。 H28年度実績 総配布数1,570枚 利用62回(世帯) 利用率4%
	2 利用者へのサービス向上	1 サービス向上のための取組内容は適切か	4	3	利用者からのニーズを受け、プログラム内容の編成やマシンジムにおける設備の入替、体育館等の空き時間を活用した運動教室やバドミントン、卓球等の種目での開放等を実施している。今後もより利用者目線でのサービス向上を目指して頂きたい。
		2 利用者の意見の把握・反映の内容は適切か	4	3	利用者からの意見の収集は適宜実施されているが、集めた意見をどう施設運営に結びつけていくかは研究が必要である。
		3 利用者からのクレームへの対応は適切か	4	2	クレーム対応については、早急な対応等を実施されているが、一方で施設のクレームを所管課が受けている現状があるため、指定管理者において迅速丁寧な対応を実施して頂きたい。スタッフ間で対応に差が出ないよう指導徹底して頂きたい。
		4 施設設備等の活用の内容は適切か	4	4	体育館等施設の空き時間に教室の開催や会員への開放(卓球、バドミントン等)を実施している点は評価される。 また利用者ニーズに沿ったプログラムの提供や子どもから高齢者を対象とした事業についても継続して実施されており、十分な施設活用を実施されている。

評価項目			自己評価 (指定管理者)	最終評価 (委員会)	備考
		5 地域との交流のための取組内容は適切か	4	4	通学合宿での風呂利用やドリームステージでの職場体験、市が実施する行事の際にも積極的に連携を実施している。また障がい者団体等との連携も実施している。今後は指導者の派遣や専門知識を活かした事業展開等、より地域に根差した運営を期待したい。
2 事業計画書の内容が、公の施設の適切な維持及び管理並びに管理に係る経費の縮減が図られるものであること  (手続条例第4条第1項第2号)	1 施設の維持管理の内容及び手法	1 施設・設備の維持管理の取組内容は適切か	3	2	定例会議にて、状況の報告を受けている。設備等に不具合が発生した場合は、適宜報告を行なって頂いているが、指定管理者が対応すべき案件についてはスピード感を持ち、対応願いたい。
		2 安全管理・安全対策は適切か	4	3	職員の適正配置及び安全対策も十分に実施されている。また、定期的な点検等も事業計画どおり実施されている。
	2 施設の管理運営に係る経費の内容	1 経費節減のための取組は適切か	5	4	電気、ガス使用料はともに前年度を下回っており、経費節減に努められている。今後も利用者へのサービス低下とならない程度に経費節減に努められたい。
3 事業計画書に沿った管理を安定して行う能力を有しているものであること  (手続条例第4条第1項第3号)	1 収支計画の内容及びその実現性	1 収支計画と事業計画の整合は取れているか	4	3	予算以上の会費収入を得ていることは評価できるが、成果配分達成のため、引き続き努力されたい。
		2 安定した運営が可能となる人的能力	1 職員の採用・確保・配置の方策は適切か	3	3
	2 職員の研修体制等は十分か	4	3	各種研修会は定期的実施されている。また安全研修や心肺蘇生法等、施設運営を行うにあたり、必須であるものについては、毎月実施されている点は評価できる。	
4 前3号に掲げるもののほか、公の施設の設置目的を達成するために十分な能力を有しているものであること  (手続条例第4条第1項第4号)	1 安定した運営のための財政的基盤	1 団体の財務状況は健全か	5	4	(株)コナミスポーツクラブの健康サービス事業においては、42億円の利益及び昨年度15億円の増益。
		2 個人情報の保護措置・情報公開	1 個人情報の保護措置及び情報公開の取組内容は適切か	5	4
	3 類似施設の運営実績	1 類似施設や類似業務を良好に運営した実績はあるか	5	4	前年度と比較し、受託数が増加していることは評価できる。
5 その他	1 その他の提案・企画	1 提案・企画の内容等は適切か	5	3	申請時の事業計画を達成されており、適切に実施されているが、他の類似施設を運営していることによって得られたノウハウ・企画を所管課と協議しながらクロスパルこがの運営に活かすこと。

評価項目			自己評価 (指定管理者)	最終評価 (委員会)	備考
6	指定管理料	1 指定管理料	4	3	予算以上の会費収入を得ていることは評価できるが、成果配分達成のため、引き続き営業努力をされることが望ましい。

指定管理者のコメント(自己評価・PR等)

平成28年度は「公共福祉の場として子どもから高齢者・障がい者まで世代や障がいの有無にかかわらず平等利用できる施設づくり」を方針に掲げ、特に障がい者・高齢者の利用促進を注力施策として取り組んだ。

障がい者の利用促進として、障がい者無料体験会を開催。また、いちばん星・リハビリテーションセンターがプールを定期的に利用できるよう配慮し、障がい者の利用が増加している。

高齢者や弱者の利用促進としては、赤ちゃんを育てる母親のストレス解消に「ママ&ベビーヨガ」教室、高齢者等の運動プログラムを体力別に設定した「シニア健康教室(低体力)」「Oyz教室」を開催した事で、高齢者にも継続して運動する事により筋力や運動機能向上の効果が見られるなど成果を見せている。

市民の利用促進としては、古賀市転入者へWelcomeチケットの配布(1,570名に提供)や介護予防対象者に施設利用券を配布(1,160枚配布)等運動を始めるきっかけを提供。さらに、古賀市イベントや自治会へのチケットの配布、市民への施設無料開放等、市民の皆様の利用促進に取り組んだ。この結果、利用者数については年間201,945名となり、多くの市民に利用頂けたものと自負している。

この他、平成26年度に提出したプロポーザル提案書にて掲げた事項については、平成28年度に実施する項目を222項目と設定し全項目実施を完了。達成率は100%と計画通りの管理運営を遂行している。

以上より、平成28年度方針である「公共福祉の場として子どもから高齢者・障がい者まで世代や障がいの有無にかかわらず平等利用できる」を高いレベルで実現し、設置目的である「市民の健康づくり、生涯スポーツ及び文化の振興を図り、障がい者・高齢者と共に生きる健やかな地域社会づくりの実現」を達成したものと自己評価している。

評価委員会のコメント

「公共福祉の場として子どもから高齢者・障がい者まで世代や障がいの有無にかかわらず平等利用できる施設づくり」という平成28年度の方針が実施事業に反映されており、評価している。また、幼児から高齢者、障がい者等幅広く市民を対象とした事業が実施されていること、様々なキャンペーンを通じて利用促進を図っていること、体育館等施設の空き時間を利用した教室の開催や会員への開放など施設の有効活用が行われていることなどは、いずれも評価できる。

一方、以下の点は利用者への対応が不十分であり、平成29年度においてはこれらを改善し、誰もが利用しやすい施設づくりを目指してもらいたい。

- ・クレーム対応については、まずは指定管理者が対応するということを徹底し、スタッフによって対応が異なることのないようにされたい。
- ・アンケートからは、施設の維持管理について、利用者は早急な対応を望んでいることが伺える。利用者の要望に応えるためにも修繕箇所があれば早急に対応されたい。